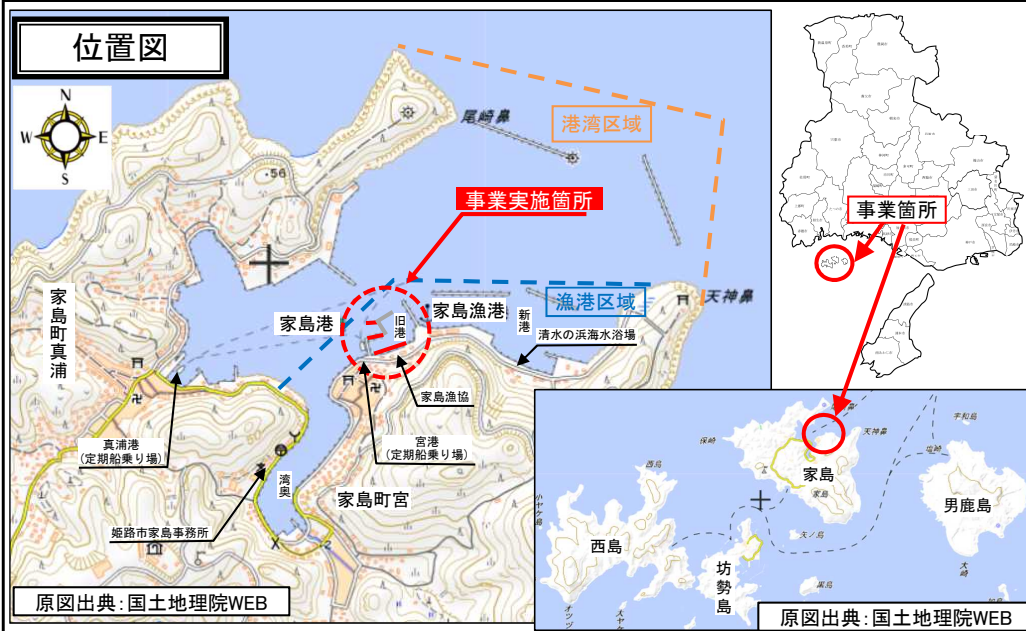


水産基盤整備事業〔家島漁港〕

位置図



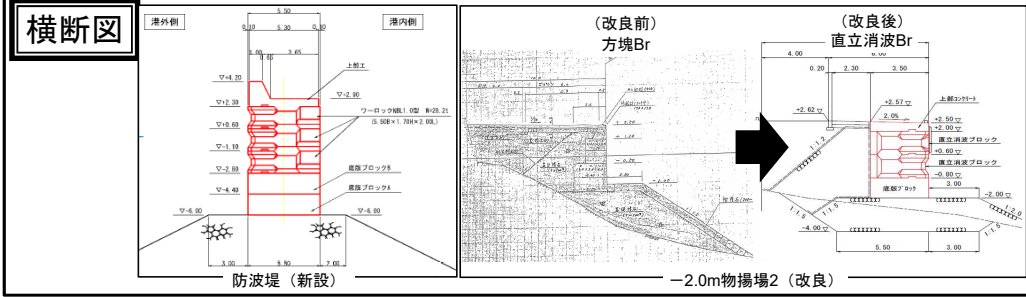
目的

漁業活動の安全性、効率性確保を目的とした「港内の静穏度確保」及び「適正な水域確保」

事業概要

事業区間：姫路市家島町宮
 総事業費：7.2億円
 事業期間：R5～R12
 事業概要：A防波堤（撤去）L=60m
 A防波堤（嵩上げ）L=10m
 防波堤（新設）L=30m
 -2.0m物揚場2（改良）L=104m
 費用便益比B/C: 1.27

横断図



漁港-1-1

工程表

工種	年度							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
A防波堤（撤去）								
A防波堤（嵩上げ）								
防波堤（新設）								
-2.0m物揚場2（改良）								

事業の必要性・優先性

- ①近年の気象・海象変動の影響等に起因する波高の増大傾向に伴い、既設A防波堤の天端高が不足し、越波が生じて港内静穏度が悪化している。
 【沖波（東南東）2.1m(S30～H18の気象擾乱) → 3.1m(S30～H30の気象擾乱) ⇒ 波高増大】
 【-2.0m物揚場2 前面波高0.6m > 目標波高0.4m以下 ⇒ NG】
 - ②港内静穏度不足のため、荒天時は湾奥護岸への避難係留を余儀なくされている。【台風襲来時年間6回程度】
 - ③主たる利用漁船が大型化し、港内が手狭になっており漁船の航行に支障が生じている。
 【主たる利用漁船 3t → 5t ⇒ 大型化】
- 以上について、漁港利用者から「港内の静穏度確保」及び「適正な水域確保」に向けた早期対策を求められている。このため、それらに対応すべく、防波堤の嵩上げ・撤去・新設、物揚場の改良を実施する。

現況写真

①防波堤天端高の不足



②港内静穏度不足による荒天時の避難



③漁船の航行に支障が生じている



平面図

